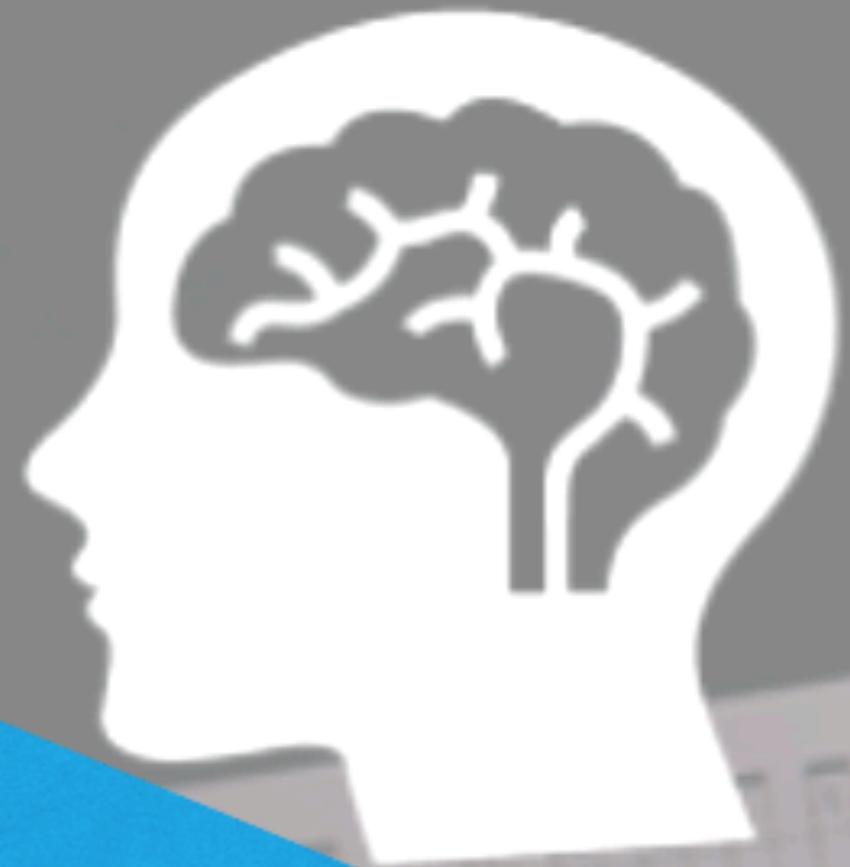


\$ python techgym.py



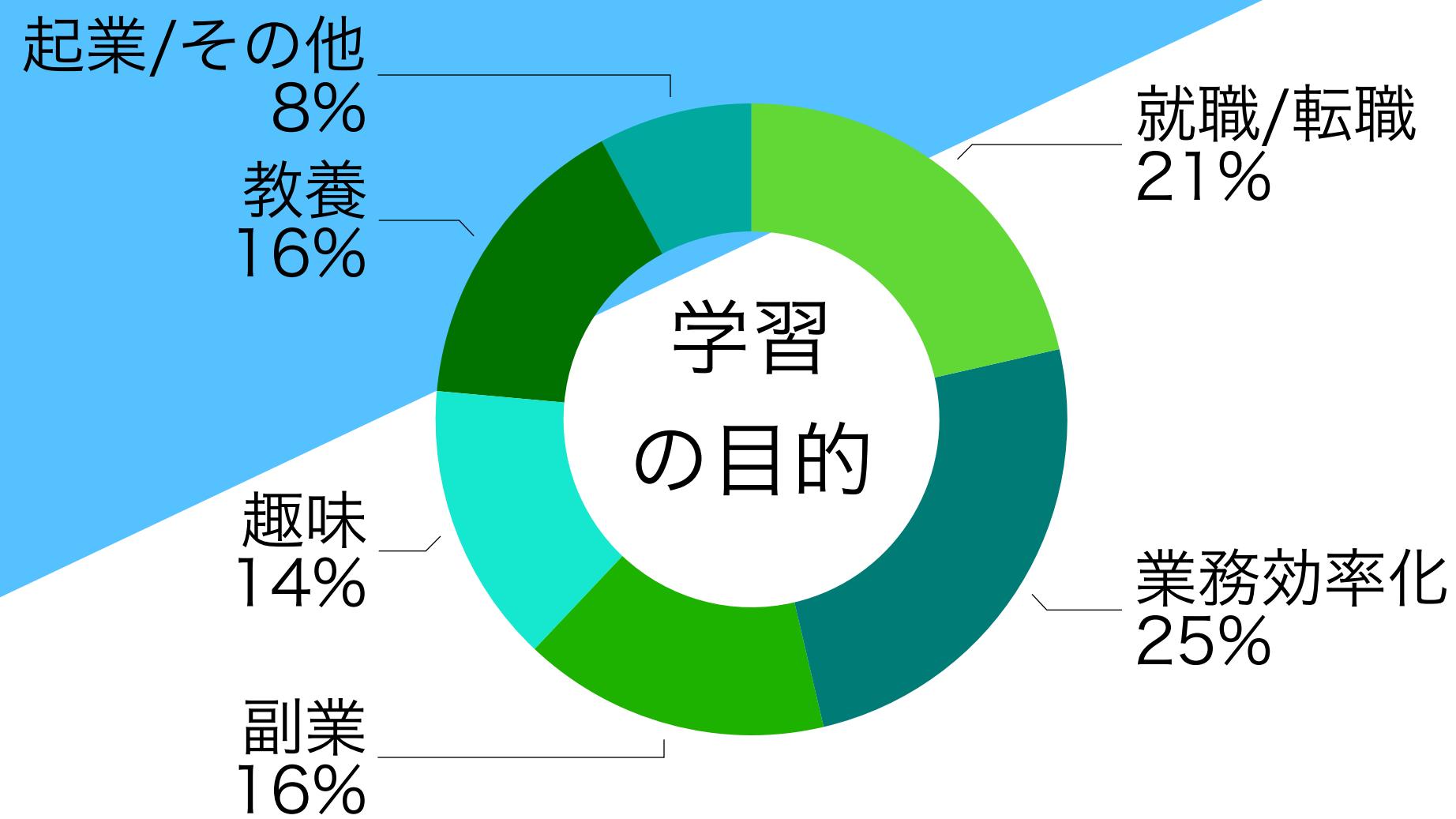
techgym

「読み」 「書き」 「プログラミング」

フランチャイズ加盟のご案内



techgym とは？



様々なプログラミング学習の目的にそったテキスト作りで世の中のニーズにお答えしています
テックジムの教材で沢山の方がプログラミングに触れられる場を全国と一緒につくりましょう！

テックジムは「全国30カ所に展開している自習型プログラミング塾です」
いつでも始められ、自分のペースで学習できる自習型のプログラミング学習法を開発。教科書や授業が不要で生徒からの質問と一緒に考える。エンジニアに必要な自己解決能力を育み自走できるエンジニアへ育てるための独自カリキュラムでプログラミングに専念して頂き、200時間でビジネスで使えるプログラミングスキルを身につける高速学習でどんな人でも、どんな目的でも、どんなレベルからでも気軽に始められます。

現在、初学者向けのpython基礎コース、AIエンジニア養成コース、副業向けRuby on Railsコース、業務効率化GASコースを用意
月額2万円でコースは取り放題となっています。

AIに興味があり、将来自分でサービスを作りたい

今の仕事も継続つつ、ステップアップとして

社内のエンジニアと円滑に仕事をすすめるため

子供に教えるために、まずは自分も習得したい！

プログラミング教育市場の動向

2024年には250億円超える成長市場！

2020年から2024年にかけて、小学生のプログラミング科目的必須化、同様に中学・高校でも必須化。そして、大学入試にプログラミング科目が追加されることを背景に、彼らを対象にしたプログラミング教室はすでに4000校を超え、1万校になるとされております。

働き方改革が浸透するなか、仕事を辞めざるを得なかった主婦層を中心に、クラウドソーシングの需要が増えています。彼女らの多くの仕事はパソコンを使った軽作業や、事務代行などの業務が中心でした。

プログラマーもまたリモートワークに向いている職業ですので、プログラミングスキルを持っている方は、より時間単価の高い仕事を受けることができます。

また、「会社勤め」という働き方を見直したい人は「フリーランスエンジニア」という生き方を選択することもできるでしょう。

テックジムは全国に30校舎



※2020.12月時点



また、コロナによるリモートワークの需要増加によりニーズは益々増加するものと考えられます

テックジムの 理念

■エンジニア職の独占スキルだったプログラミングをコモディティ化し、万人がITを活用できる社会へ
テックジム会員という名の全国につながるIT人材ネットワークを通じて各地域にIT産業を生み出し、「誰もが好きなところに住んで、好きな仕事をする」という世の中を作りたい
そして「どこに住んでいても安価なプログラミング教育を受けられる」社会を実現してきます。



こんな方にFCを展開して
いただいている

- 地域でIT人材を育て地場のIT産業を生み出したい
- 受験構造や学歴社会に違和感がある
- 東京に搾取される構造や競争社会に違和感がある
- 地域ナンバーワンのIT人材コミュニティを持ちたい
- 自学自習こそが上達の早道であるという持論がある
- フリーランスエンジニア

テックジムでは、「公式式」のように、全国津々浦々にプログラミング教育を浸透していくことを目標にしております。トレーニングジムやそろばん塾があなたの街にあるのに、プログラミング教室がないというのは、おかしいと思いませんか？

テックジム会員という名の全国につながるエンジニアネットワークを通じて各地域にIT産業を生み出し、「エンジニアが好きなところに住んで、好きな仕事をする」という世の中を作りたいと思っております。

比較

テックジムのスタイルはワイワイと誰でも学べ集まれるコミュニティーの提供。

そして手を出しやすい金額帯とそのカリキュラムの性質から一人の生徒にべったり張り付く必要がありません。

生徒と一緒に考えながら、自己解決ができる学びへと導くようにしていきます。

他社プログラミングスクール

30～70万	入会金/料金	入会金3万+月2万
3ヶ月～1年	期間	いつでも入退会自由
大学生アルバイト	トレーナー	プログラマー
就職・転職	主な目的	趣味・教養・基礎の習得
大学生～社会人	会員層	中学生～シニア

テックジムのゴールは就職・転職ではありません
優秀なエンジニアになる素養を身につけることができるプログラミング塾です。高いお金を払って授業を受けやった気になっただけの受け身ではいい
エンジニアにはなれません。

他のプログラミングスクールとの違いは？？

優秀なエンジニアとは？

独学ができる、自ら勉強し続けることが出来る人
プログラミングを楽しめる人
いいものを作ろうと素直になれる人
その全てをテックジムメソッドとしてテキストや運営に詰め込んでいます。
また「読み」「書き」「プログラミング」というのは万人にプログラミングに触れて欲しい！
という思いからそのメソッドを全国各地に広げています。

イニシャルコスト100万で始められる

回収イメージ

会議室を週2回利用

※毎月4名新規入会

経費	
会議室費用	¥3,000×8回 ¥24,000
トレーナー費用	¥5,000×8回 ¥40,000
合計	¥64,000/月

■入会初月
入会金¥33,000
月額¥22,000
合計¥55,000

■2ヶ月目より
月額¥22,000

	1ヶ月目	2ヶ月目	3ヶ月目	4ヶ月目	5ヶ月目	6ヶ月目
会員数	4名	7名	10名	13名	15名	17名
月退会者数	0	1	1	1	2	2
売上	220,000	286,000	352,000	418,000	462,000	506,000
経費	64,000	64,000	64,000	64,000	64,000	64,000
ロイヤリティ	44,000	57,200	70,400	83,600	92,400	101,200
粗利	112,000	164,800	217,600	270,400	305,600	404,800
残債	▲888,000	▲723,200	▲505,600	▲235,200	70,400	475,200

5,6ヶ月目で黒字化のイメージ

*経費は最低限の試算です

モデルケース

2019年春開校
会議室を利用

2020年春
開校
コワーキングス
ペース利用

1年半で生徒数延べ218名
*平日夜と土曜日開催
*トレーナー5~7名在籍

半年で生徒数延べ29名
*プログラミングスクール経営・テックジムを導入
*週2回開催
*トレーナー2名

運営においてのメリット・デメリット

- トレーナーの選定が必要
- 利用時間を自由に設定できる
- 生徒数が多いと交流が生まれやすくコミュニティーが形成しやすい
- 一人一人のケアが重要になってくる
- カリキュラムとトレーナーがいれば事業導入しやすい
- 既存ビジネスを抱えながらだとトレーナーの負担が大きい
- 空き時間・スペースでしか稼働できないので生徒を増やしづらい
- 口コミが徐々に回ると紹介で会員が増えていく

体験会・無料講座のコンテンツを生かして新規に開校する店舗への
入会希望者を効率よく新規獲得していきます。

3ヶ月の準備期間（無料講座）
オープン初月は会員20名

無料オープン講座の参加者は
2年で10,000名以上！

オープン講座のカリキュラムをご用意
初めは不安でも、丁寧にお教えいたします

万が一、上手くいかなかつたときは！！？？
撤退にかかる費用は一切かかりませんが、会員さんを最後まで見届けてください
辞めたときも負債を抱える事なくリスクはほとんどありません

●コワーキングカフェを2店舗運営のAさん

2020年春・開校

- ・コワーキングカフェ2店舗どちらでも利用可能
- ・運営半年で会員数延べ16名
- ・トレーナーは無し

テックジムを始めようと思ったきっかけは？

元々勉強が出来るカフェを自身が利用しており、
現在はカフェを2店舗経営。

テックジムの「自習型」「コミュニティー」というコンセプト
に共感し、FC加盟を決めました。

トレーナーが居ない中での運営ですが、コワーキングの特徴から
「自習」が出来る人、自己完結が出来る人が多く
質問や疑問点は本部が用意するオンライン対応で足りています。

●フリーランスエンジニアのBさん

2019年夏・開校

- ・会員数延べ20名
- ・週2回会場を借りて開催
- ・オンラインにも対応

テックジムを始めようと思ったきっかけは？

知人の紹介でテックジム加入を決めました。
メインの仕事とのバランスを見ながらモートも含め
自由に時間が設定ができ運営しやすい印象です
加盟により継続的な売上の確保や多様な方との触れ合いが
できました。

日々、会員さんの技術の探究や興味に一緒に答えを探しています

こんな方はテックジムを展開して見ませんか？

- フリーランスエンジニアで空き時間を使いたい
- 自社でエンジニアを育てたい
- コワーキング等運営しているので会員増の足がかり
- 既にプログラミング教室を開校している。テックジムの教材も使いたい

Aさんの様にご自身の事業にテックジムを組み込むことで
化学反応が起き、新しい展開が産まれていきます

又余っている空きスペース等を有効活用する事にも向いています。

テックジム運営の流れ

社内会議室
利用モデル

平日毎日
19時～22時
土曜日中
開催

会議室やコワーキング・会社の空いているスペースなど活用すれば、会場のコストは抑えられます！
必要なものはwifi環境だけ。

月・火
水・木
金・土

コワーキングスペース
利用モデル

月・火
水・木
金

平日週2回
開催

体験会・面談 初めの方の流れ

- ①始めに導入テキスト・python 1章のお渡しから始まります
- ②まずは導入テキストを見ながら実際にやってみましょう
- ③1章の3問目程やっていただいたところで（1.5時間程）会員さんと勉強の進め方や不安な等解消の面談をお願いします

導入を理解すれば
後はひたすら自習!!

トレーナー以外の業務は？？

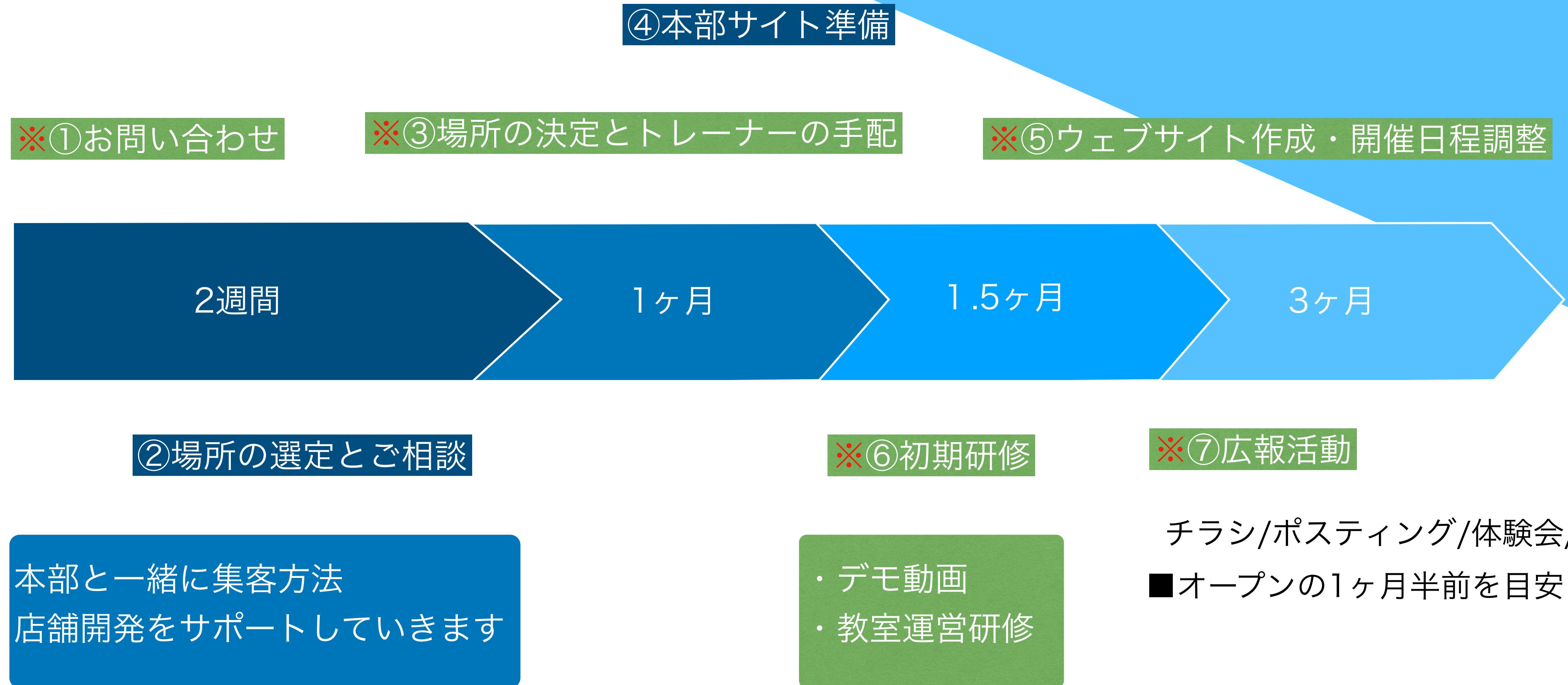
無料講座
pythonの無料講座を
週1目安で開催しています
本部が用意しているテキスト
を使って頂きます。

面談
オンラインでの学習相談
入会にあたって不安点等
解消していきます

体験会
実際に参加する体験会
の実施をしています。

お問い合わせから開校までの流れ

※テックジム加盟者さまの流れ



●加盟者さまにプログラミングのスキルがあればより素早い運営のスタートをお手伝いできます

研修内容

- 集客方法
- 体験会運営方法
- 無料講座の開催
- 入会へのクロージング
- 教室運営
- 面談

- 事務手続き等
- スプレッドシート共有
- slack
- 会費ペイ操作

集客方法

各種媒体を使った集客方法を1からお伝えしていきます。

体験会運営

体験会の実施の流れを確認していきます

スプレッドシート
会員管理・使い方をお伝えしていきます

会費システムについて
設定方法から使い方・注意点等お伝えします

無料講座の開催

pythonのテキストを使った無料講座の開催について研修します

面談

効果的な面談方法・入会へのクロージング

サイトの更新について
テックジムサイトの更新について操作方法

教室運営
サポート



運営勉強会
毎週開催・オンラインでのサポートをいたします

開校後

販促ツール
本部が準備した販促ツールを
準備しています。



チラシやパンフレットのデータ
動画データを提供いたします



Tシャツ・ノベルティ
イベントグッズデータ

イニシャルコスト 100万~

項目	空きスペース利用モデル	備考
加盟金	100万	
物件取得費	0	物件により異なります
内装什器	0	物件の形状により異なります
広告費	0	開校時に使用するチラシ等
採用費	0	トレーナー人件費
運転資金	0	
合計	100万	

会議室や空きスペースを利用、または応じて貸し会議室を利用する等柔軟に対応できるのがポイントです。
必要最低限の場所さえあればすぐにでも開催ができるのがテックジム。
大規模な改修や什器を揃えたりは必要ありませんので、万が一撤退という事になりましても負債を抱える事なくリスクが少ないです。

ランニングコスト（開校後）

ロイヤリティ・・・会費システム入金額×20%

よくあるご質問

Q.必要な資格はありますか？

A.営業方針に賛同いただけた方が対象となります。プログラミングスキルが必ずしも必要なわけではありません。一緒に学んでいただける方であれば大丈夫です。

Q.出店エリアに条件はありますか？

A.既存の加盟店と商圈が重複しない出店配置であることが条件です

Q.トレーナーに必要なスキル

A.現役エンジニアもしくはエンジニアとして働いたことがある方。

Q.どのような人がトレーナーに向いていますか？

A.テックジムは授業がありません。質問と一緒に解決できる方が向いています。また対応できない質問に関しては本部の方でサポートいたします。

Q.集客等、本部のサポートはどこまでありますか？

A.研修にて集客方法、運営方法をレクチャーしていきます。疑問点につきましては都度ご質問ください

Q.本部の目指すビジョンを教えてください

A.テックジム会員という名の全国につながるIT人材ネットワークを通じて各地域にIT産業を生み出し、「誰もが好きなところに住んで、好きな仕事をする」という世の中を作りたいと思っております。

Q.万が一うまくいかなかった時の撤退コストを教えてください

A.コストはかかりませんが現在いらっしゃる会員様を最後まで責任を持って見届けて頂きます

その他ご質問に関しましてはwebサイト、またはsupport@techgym.jpよりお問い合わせください。

会社概要



社名	テックジム株式会社
代表取締役	中村安幸・藤永端
設立	2019年8月19日
資本金	10,490,000円
所在地	東京都千代田区神田淡路町2-4 3F
東京本校 (本部)	東京都千代田区平河町2-7-2 VORT永田町6F

お問い合わせ

TEL 03-6277-6142
メール support@techgym.jp
Web <https://techgym.jp/>